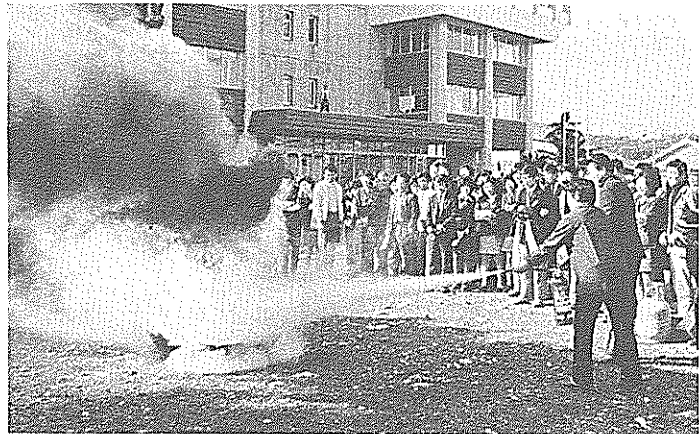


防火は最高の消火



家庭に一本の消火器

初期の消火が大切

この十二月から三月にかけて、火災の一番多い季節になりました。焼けて泣くより、みんなで火の始末。市民一人ひとりが防火の意識を高め、火災の防止、人命損傷事故のないように。今日は関係機関の人たちから火災の予防について聞いてみました。

意外に多い放火

毎日、ごろごろと続きます。はじめに、南國市の火災状況はどうでしょう。
 ▼今年一月から十月までに発生した火災の総件数は二十一件です。覚知別に見ますと、一一九による通報が十五件、ふつう電話の通報が一件、ハイヤー運転手の駆込が一件、警察に通報があったのが三件、その他、事後報告が一件となっています。
 ▼火災の種別は、建物物が十四件、林野が一件、車輛が二件、ビニールハウスが二件、ハウスのバーナーが焼けたのが二件です。
 ▼残念なことに、一回の火事で二人が死亡しています。非常に申しわけないことです。
 ▼火災の原因別は、不始末が三件、

過熱が六件、放火が二件、これが原因別の主なものです。
 過去三年間のトータルを見ますと、放火が十一件、四十六年に三件、四十七年に六件、これは建物火災原因の二十強です。
 ▼四十六年の火災件数は三十三件、四十七年が三十五件です。今年十月までで二十一件ですから、だいぶ多いわけですが、というのは、六、七月にタバコの乾燥場の火災が四件くらい続いておこりましたから、それで今年火災件数が多くなっています。
 □分団数はどのくらいありますか。
 ▼十二分団、二十三個班です。
 ▼消防署の職員数は三十八人、分団員は三百二十八人です。

密集地帯は防火構想に

□これまでみなさんが体験した火災で、記憶に残っているものがありませんか。思い出して話したいと思いませんか。
 ▼今まで三十二年間に「ふん火」で人が死んだりしましたが、ある所の火事で、三時間半というものが、放水したことがあります。飛び火で三百メートルの所にある電柱が燃えたり……。現在は消防の設備は県下一といわれるくらいになっていますが、当時は手引きで

▼私は二十一年に団員になって、その頃、前浜に浜田という煎餅屋があった、その火事が大きかった。朝方だったと思いますが、火事だということになって飛び出した。ポンプを引いてきたところがポンプがかからない。後免からきた消防車だっと思ったんですが、ホースを川につけたがよう水を吸いあげない。結局火の手おしポンプで消したという苦い経験がありました。
 ▼その火事で思い出しましたが、私の家も近くで、おばあさんが菩薩様の掛け軸を出しておまじないをする、と風向きがかわったものです。
 ▼二十四年頃、東町が大火で焼けて三十八世帯が焼け出されたことがあります。その時、ガソリンをドラムカンに入れて置いてあった火がまわってふたが取れて、ちょうど、火炎放射器のように火が飛び出した。市街地だったので煙が早かった。
 今考えてみると密集地帯では、防火構造しておくのが大切ですね。その時も土蔵づくりの家で火がとまりましたから。
 ▼北部の山火事があったとき、同時発生火事がおこりました。山からとんぼ返りしても時間がかかる。はじめの五分、十分を争いますから、そんな苦勞もありませんが、そんな体験を生かして、出勤区分をして同時発生火災に備え

ています。

バケツに一杯の水

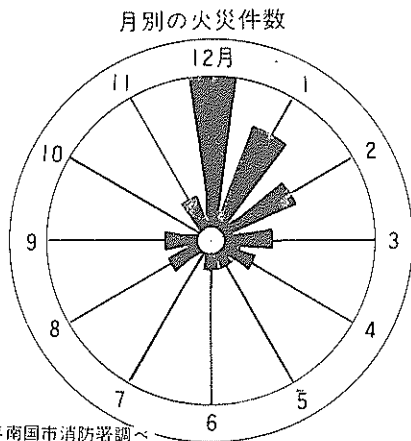
▼学校の火事するとき、一番気をつけなければならぬのは、子供の避難ですが、南國市の場合、比較的に学校の側の水利が悪い。ただりっぱなプールがあって、これを利用してすることになります。せつかくプールがあるのに、まわりを金網でかこってありますから手間どる。すぐに金網を開けるように設備してほしいです。
 ▼高知市では、朝必ずプールの金網をあける。あれは潮江小がはじめて、それから広くやりはじめましたね。
 ▼プロパンガスを取り扱っている人からみて、その注意点は？

▼県の指導で、業者が組織して調査センターというのを組織しています。年に一度、二年に一度というふうに調査員が各家庭に出むいて、法的に定められた、一年毎のゴムホースの交換などをするわけです。
 ▼南國市では野市の丸善ガスの隣りに事務所を置いて南地区の一万户ぐらゐを何名かの調査員がまわっています。
 ▼調査員の費用は業者が負担し、需用器具は各家庭で負担ということです。

風呂の水を空にするな

▼いつも思うことですが、防火のために、寝る前などにバケツに水を入れておき、消火器は必ずそなえておく。

私の経験で近くに放火があった。夜、二時頃、犬が吠えだして起きてみると障子がパーとあかっている。一杯の水をもって走った。火は軒に燃え移ろうとしていた。隣からもかけつけてきた。結局、消防車がくる前に消しとめることができた。初期の一杯の水がいかにか大切かということ



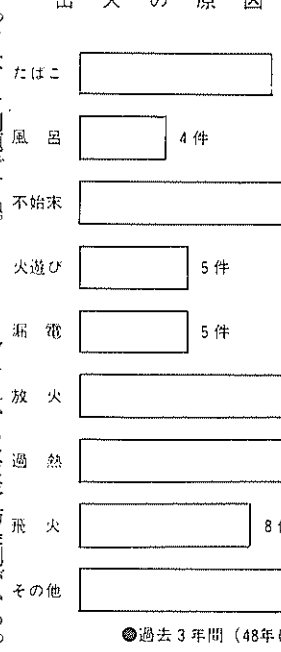
47年南國市消防署調べ

すね。

▼私たちは、最近、風呂の水をカラにするなど言っています。
 ▼火災原因を見ますと、風呂のたぎったばなして外出したりしています。あぶないですね。
 ▼消防に従事して、最も悲しいことは人が死ぬということです。久枝で身体の不自由な人が住んでいたはなれが燃えた。消防の人がいるのに、火がまわって、中に入るといふことを言われるんです。その時はすでに入れない……。火災現場に人がとり残された場合、早く知らせしてほしいです。

▼市街地の火災の場合、交通が混雑して消防車が進めず、みすみす目の前で全焼するということがあるわけですね。市街地で火災が発生したときは、市街地の車をどんと外に出してもらおう。これが消火の大きき援助になると思うんですが。
 ▼火災で出動する場合、一番困るのは不法駐車です。
 ▼田久礼田の密集地帯では駐車が多い。禁止区域の不法駐車は摘発できるが、青空駐車は不法駐車とはいえず、八時間以上やらないと違反にならない。
 商店街などの駐車禁止も、やはり民意をくんでやらなければならぬ。駐車というのは消火活動に

(南國市消防署調べ)



▼最近の火災では、焼け死ぬというよりも煙で死ぬことが多いわけですね。まだ火がまわってないからといって決して中に入らないように注意してほしい。

訓練で冷静さを

▼火事の現場では、たいてい人がアガってしまっていて、何をしようかわからなくなる。人を誘導する立場の人とか、建物の責任者は防火訓練をしてほしいですね。訓練によって冷静さを保てるようになります。

▼ほかに持ち出す物があるのに、おばあさんがガラス板をもって出てくるんですね。気が動転して自分で自分が持っているかもわからんわけですね。

▼それから火災予防条例がかわって、昭和五十二年六月三十日以降倒れたとき、瞬間的に消火できるストローでないと使えなくなりました。(買えない)

▼灯油の値あがりということで、買いだめしている家庭があると思われませんが、これは消防法で定められた指定数量があり、トカンで五カンしか買えません。

▼「焼けて泣くよりみんなで火の始末」といいます。最低、各家庭に一つの消火器を備えてほしいですね。防火は最高の消火で、防火は誰にでもできます。

▼地震・カミナリやおやじとちがって、火災は全ての財産をうばってしまいますし、尊い生命をうばうことさえあります。
 火災のシーズンを前に、家庭では防火にとめてほしいものです。

(5) 石油器具	イ	破損または故障した器具を使用していないか
	ロ	可燃物の近くなど危険な場所で使用していないか
	ハ	石油は安全な場所に保管しているか
(6) 火鉢	イ	石油ストーブは倒れ易い場所で使用していないか
	ロ	破損したものを使用していないか
	ハ	底の部分が過熱し、こげていないか（煉炭火鉢は特に注意）
(7) その他の器具	イ	可燃物がおちたりするおそれのある場所で使用していないか
	ロ	衣類の乾燥など目的以外の用途に使用していないか
	ハ	タバコの吸殻は灰皿など適当に処置されているか
(8) 電気引込線・電機器具など	イ	取灰は安全な容器に入れ安全な場所におかれているか
	ロ	火消壺は完全か、危険な代用品を使用していないか
	ハ	ローソクや灯明台は倒れないように使用しているか
	イ	電線被覆が破損していないか
	ロ	モルタル壁を貫通する場所では碍管を入れているか
	ハ	引込線が金属製のとい、トタン屋根看板などにふれていないか
	ニ	コード配線は素人工事はしていないか
(9) その他の	ホ	ヒューズブレーカーの検査の必要はないか
	ヘ	アイロン台は適当か、板の上などに置いたりはしていないか
	ト	電気コタツの中に掛けフンをけり込んだりしていないか
	チ	コンセント、スイッチなどに手をふれて見て熱くなっていないか
	リ	タコ足配線など過負荷状態で使用していないか
(9) その他の	イ	病人、老人、子供などは避難し易いところで寝かしているか
	ロ	非常出口や避難通路などは通り易いようになっているか
	ハ	そのほか、防火上危険な点はないか
ニ	消火器は1個以上用意されているか	



火事と救急車は
119番へ

家庭の防火診断

火災のシーズンです。あなたのお宅も、次の表で「防火診断」をしてみてください。防火は最高の消火です。×印のついたところは、いまずく改善しなければなりません。普段から十分注意して、尊い生命と財産を火災から守りましょう。

(1) 煙突	イ	破損したり亀裂のある箇所はないか
	ロ	建物の可燃物に接していないか、断熱材を使用しているか
	ハ	すすがたまっていないか、火の粉が飛び出していないか
(2) かまど（風呂の焚口を含む）	イ	貫通部附近、天井裏につきめや破損などがないか
	ロ	可燃物に接していないか、破損や亀裂はないか
	ハ	薪用に造られたものにそのまま、石油、プロパンを使用していないか
(3) こんろ	イ	たき口付近が乱雑になっていないか、可燃物を置いていないか
	ロ	たき口の扉がこわれていないか、かまどの位置は危険でないか
	ハ	破損したものを使用していないか、不適当なものをつかっているか
(4) ガス器具	イ	不燃性の台の上で使用しているか
	ロ	障子、カーテン、板壁など燃え易いもの、引火性のものの近くで使用していないか
	ハ	破損した器具を使用していないか
(5) 器具	イ	ガス漏れの様子はないか、器具の台は出火の危険はないか
	ロ	可燃物の近くなど危険な場所で使用していないか
	ハ	ゴム管は老化していないか、ゴム管は長過ぎないか
ニ	ゴム管止めがついているか	
ヘ	プロパンガスボンベは安全な場所においてあるか	